

野生鳥獣シンポジウム2024



急増するクマ被害

…イノシシ・シカ・アライグマが身近に…

2023年度は連日のように各地でクマやイノシシの出没、人的被害が報じられました。本来の生息地であった山林の環境悪化や餌不足、中山間地の過疎化の進行が原因とも言われ、野生動物の行動圏が人の暮らしのすぐそばまでシフトしてきています。イノシシ、ニホンジカの北進が続き、アライグマなどの侵略的外来生物の県内定着も進んでおり、農業被害や生態系被害の深刻化が懸念されます。

このたびは専門家を招いて野生鳥獣の現状を学び、保護と防除のありかたを考えてみます。あわせて、主催団体「みちばた案内人の会」が実施した「山本山哺乳動物相調査」の結果をポスター発表いたします。

日程

2024年 3月17日(日) 13:00～17:00

会場

サンラック小千谷(小千谷総合福祉センター)
3階大ホール 小千谷市桜町 5140



会場は高速小千谷ICから直線約400m。駐車場は狭いため、小千谷市総合体育館の駐車場をご利用ください。

スケジュール

12:30 受付開始

13:00 開会

13:10 新潟県で増えている動物たち

新潟ワイルドライフリサーチ 山本麻希氏

14:40 ツキノワグマ出没から観えるこれまでとこれから

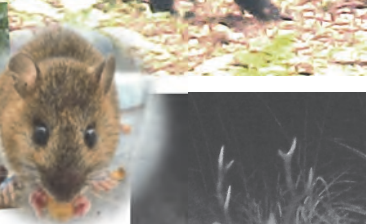
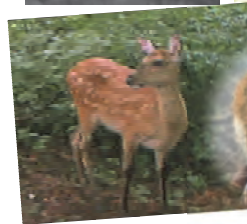
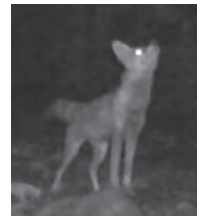
新潟大学農学部 箕口秀夫氏

16:10 パネルディスカッション

野生動物の保護と防除の道を考える

- ・丸山紗知氏(日本自然環境専門学校)
- ・山本麻希氏(新潟ワイルドライフリサーチ)
- ・箕口秀夫氏(新潟大学農学部)

17:00 閉会



- ・主催 みちばた案内人の会
- ・共催 生物多様性ネットワーク新潟
日本自然環境専門学校 NPO 法人新潟ワイルドライフリサーチ
- ・後援 小千谷市 新潟県猟友会小千谷支部 塩殿棚田を守る会
谷内水利組合 小千谷ふれあいの里クラインガルテン
小千谷新聞社
- ・協力 (公財)山口育英奨学会

申込み・連絡先 みちばた案内人の会

大平 電話:090-1033-1502 Mail: bigfild@coral.ocn.ne.jp

井上 電話・Fax:025-270-2010 携帯:090-3063-3167 Mail: naturewk@basil.ocn.ne.jp

会場にて みちばた案内人の会ポスター発表

参加費:無料

お申込みは3月13日(水)まで

QRコードか下記 URL から

<https://forms.gle/4ud54p9Wo1QdMqkd8>

(メールまたは電話でも結構です)



このシンポジウムは(公財)山口育英奨学会からの助成によって運営します